

[研究成果名] 切り花用マーガレット新品種の育成

[要約] 交雑育種法によりマーガレット新品種‘フェアリーライトピンク’、‘プリンセスレモネード’、‘ホワイトジュエル’、‘サザンエレガンスホワイト’および‘ピーチサザンキャンドル’を育成し静岡県内産地に普及した。

[キーワード] マーガレット、切り花、品種

[担当] 静岡農林研・伊豆農業研究センター

[連絡先] 電話 0557-95-2341、電子メール agriizu@pref.shizuoka.lg.jp

[区分] 関東東海北陸農業・花き

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

マーガレットは、静岡県南伊豆地域の特産花きとして昭和3年から切り花栽培されている。マーガレットには高温により開花抑制され年内には開花しにくい性質があるため、主要な出荷時期は年明け後となっていた。そこで、交雑育種法により、生育が良く、年内から開花して市場性の高い切り花用マーガレットを育成し、産地の維持・発展を図る。

[成果の内容・特徴]

1. 育成系統‘99-30-5’の自然交雑実生から‘フェアリーライトピンク’を育成した(図1)。「フェアリーライトピンク」は12月上旬から開花する小輪タイプの淡桃花で、輪付きが良く、側花が頂部でまとまって咲く特徴がある。
2. 育成系統‘01-2-1’の自然交雑実生から‘プリンセスレモネード’を育成した(図2)。「プリンセスレモネード」は10月から開花する極小輪タイプの浅黄花で、草丈が高い特徴がある。
3. 育成系統‘00-4-1’の自然交雑実生から‘ホワイトジュエル’を育成した(図3)。「ホワイトジュエル」は小輪タイプの白花で、高温時の生育が良く、10月から開花する。
4. 育成品種‘ホワイトジュエル’に育成品種‘アーリーホワイト’の花粉を交配して得られた実生から‘サザンエレガンスホワイト’を育成した(図4)。「サザンエレガンスホワイト」は、中輪タイプの白花で、草姿のバランスが良く、10月から開花する。
5. 育成品種‘ピンクサザンキャンドル’を種子親に育成系統‘04-17-1’の花粉を交配して得た実生から‘ピーチサザンキャンドル’を育成した(図5)。「ピーチサザンキャンドル」は小輪タイプの桃花で、10月から開花して年内採花本数が多い。

[成果の活用面・留意点]

1. 種苗法により品種登録されているため、栽培にあたっては静岡県との許諾契約が必要である。
2. 静岡県内で育成された品種であるため、これ以外の地域では特性の一部が異なる場合もある。

[具体的データ]

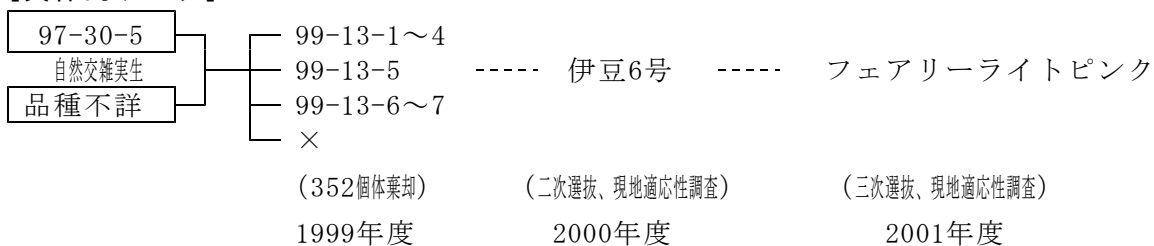


図1 ‘フェアリーライトピンク’の育成系統図

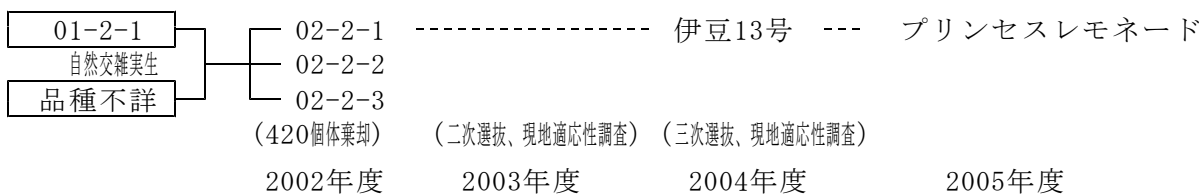


図2 ‘プリンセスレモネード’の育成経過

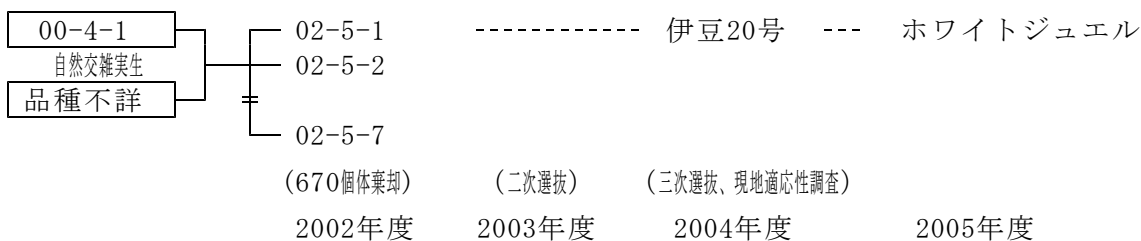


図3 ‘ホワイトジュエル’の育成経過

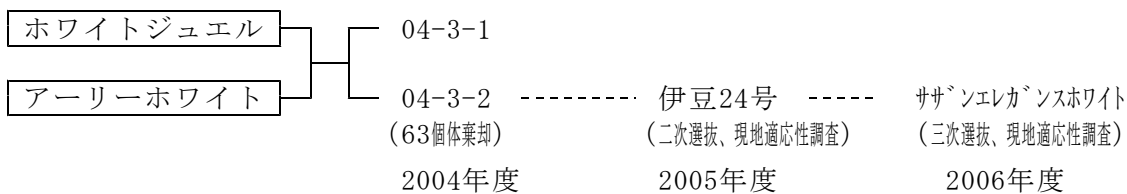


図4 ‘サザンエレガンスホワイト’の育成系統図

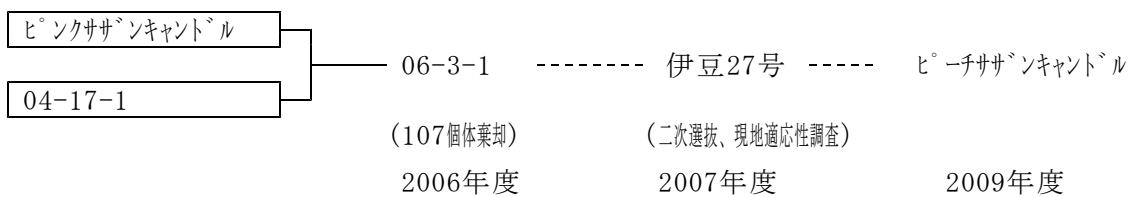


図5 ‘ピーチサザンキャンドル’の育成経過

[その他]

研究担当者：稲葉善太郎

研究期間：1999年～2009年

発表論文等：稲葉善太郎(2006) 静岡農試研報. 51. 41-47.、稲葉善太郎(2007) 静岡農林研報. 1. 27-32.、稲葉善太郎(2008) 静岡農林研報. 2. 9-16.、稲葉善太郎(2011) 静岡農林研報. 5. (印刷中)